



区内(清新町)では液状化現象が発生

東日本大震災の発生から2か月余りが過ぎました。しかし、いまだに余震が続き、また、福島第一原発事故の影響による電力の供給不足など、区民の生活に大きな不安をもたらしています。

区では、今回の震災の課題を踏まえ、区民の安全・安心の確保を最優先するとともに、災害による被害を最小限に抑えるための対策を講じていきます。

みなさんも、日頃から「自分の身は自分で守る」「互いに助け合い自分たちのまちを守る」という意識を強く持ち、災害に備えましょう。

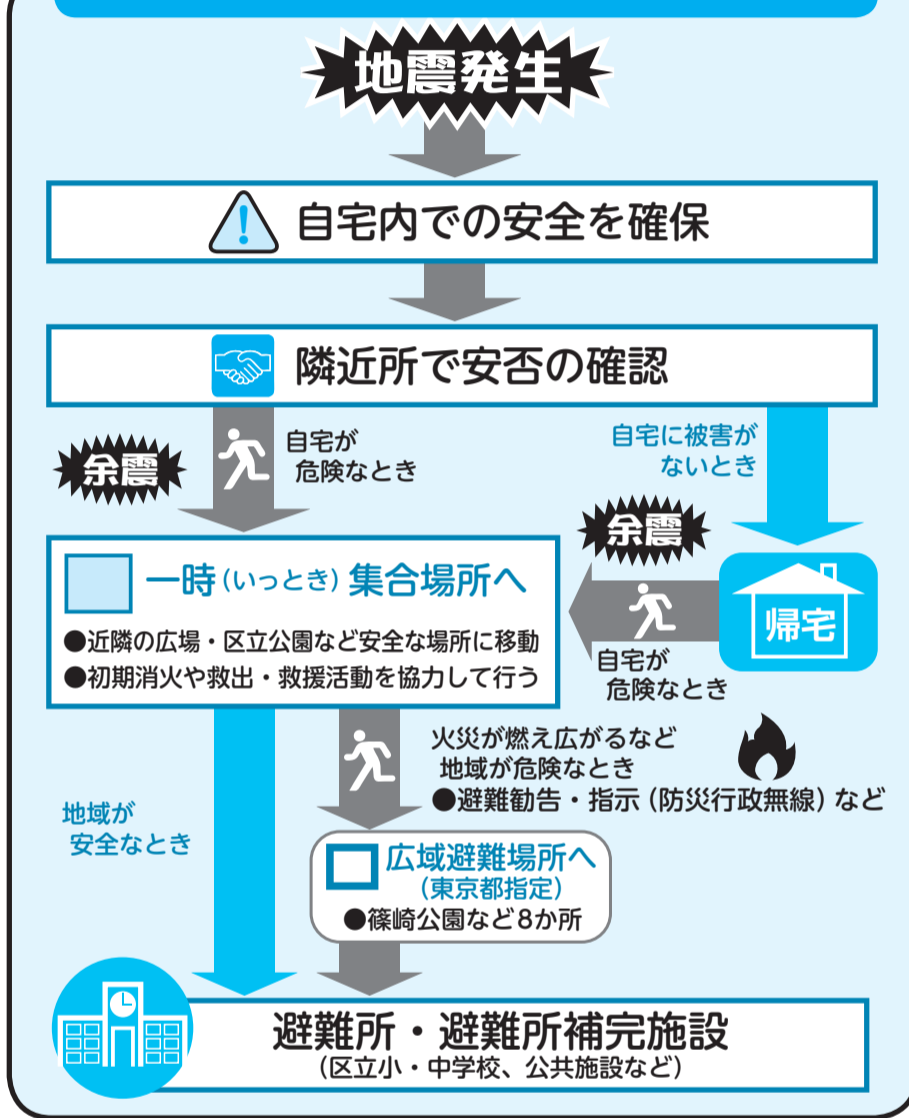
☎ 災害対策課計画係 ☎ (5662) 1992

大震災から命を守る



津波によって甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市のまちなみと避難所の様子

地震発生 避難行動のパターン



地震で堤防が壊れたら?

●状況に応じた安全な避難行動を

平成22・23年度くらしの便利帳(9ページ)や区ホームページに掲載されている「洪水ハザードマップ」を確認し、日頃から家族や地域のみなさんと、避難場所や避難を開始するタイミングなどを話し合っておきましょう。

避難行動のパターン

◆避難する時間が十分にある場合

地域防災拠点【大島小松川公園・葛西南部地区・国府台台地(市川市)】へ避難しましょう。これらの場所は、区民のみなさんが避難できる十分なスペースがあります。また、救援物資の配布やほかの避難場所への輸送など、避難後の対応が可能です。

◆避難する時間がない場合

待避施設【区立小・中学校106校】へ避難しましょう。ただし、浸水により電気・ガス・水道などのライフラインが止まってしまう可能性があります。

◆浸水が始まっている場合

近くにある頑丈な建物の3階以上へ避難しましょう。ただし、浸水の状況により移動が困難な場合は、速やかに近くの高い場所へ避難してください。



自助の姿勢を見直すとともに 自らの行動計画を考えましょう

群馬大学大学院教授 広域首都圏防災研究センター長 片田 敏孝さん



政府の中央防災会議によると、首都圏にマグニチュード7クラスの直下型地震が今後30年以内に発生する確率は、70%程度と推定されています。仮に、地震により堤防が決壊した場合、江戸川区は、陸地面積の約7割が満潮時の海面よりも低い「ゼロメートル地帯」であるため、区内のほぼ全域が水没します。

現在の防災計画は、想定シナリオに基づいて対策を立てるのが一般的です。しかし、東日本大震災では、それを超える津波が発生しました。そのため、多くの住民は想定外の津波に対する避難行動をイメージできていませんでした。

津波の大きさや到達時間、堤防の決壊など、自然災害を確実に予測するのは不可能であり、技術がどんなに進んでもこれを止めることはできません。避難勧告が出たら、「自分は大丈夫」と思わず、一刻も早く逃げることです。

今後、大切なことは、自らの身を守る「自助」の姿勢です。災害時に受けるリスクを判断し、どう行動したらいいのか自らの行動計画を作ることです。今の自助は受け身であり、本当の自助は自発的でなければならないと思います。これから自助や共助による取り組みが増えるでしょうが、住民が率先して防災に取り組む仕組みづくりが必要になると思います。

みなさんと共に安全・安心を目指していきます!

区では、今回の地震を受けて、震災対策検討会議を実施しています。会議では、様々な観点から災害に強いまちづくりの推進を目指すことを目的に、検討を重ねています。

主な検討項目

●区民への情報伝達
様々な伝達手段の整備・検証と区民への的確な情報提供に関する仕組みづくりを構築

●避難所の見直し
住宅被害が発生していない段階での避難所開設に対し、基準を設定



●帰宅困難者対策
多数発生した帰宅困難者への支援体制を構築

●備蓄体制の見直し
拠点備蓄(21か所)による保管のあり方や備蓄品目について、今回の震災での対応を検証し、避難所などへの配備を検討

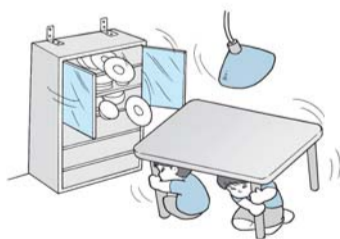
●災害時要援護者対策
支援方針や支援内容の決定、受け入れ施設との連携など、救援体制の確立を検討



緊急地震速報が流れたら?

◆屋内にいたら...

- ・慌てて外へ飛び出さない
- ・すばやい消火、火の始末
- ・頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる



◆屋外にいたら...

- ・ブロック塀の倒壊や自動販売機などの転倒に注意する
- ・看板、割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる

◆人が大勢いる施設では...

- ・出口や階段に殺到せず、係員の指示に従い落ち着いて行動する

◆自動車運転中は...

- ・慌ててスピードを落とさず、緩やかに速度を落とす
- ・ハザードランプを点灯するなどして、周りの車に注意を促す
- ・大きな揺れを感じたら、急ハンドル・急ブレーキを避け、道路の左側にゆっくり停止する

災害情報や緊急時の連絡は?

地震や洪水など、災害に関する区の最新情報や問い合わせ先は、区ホームページや区携帯サイトをご覧ください。

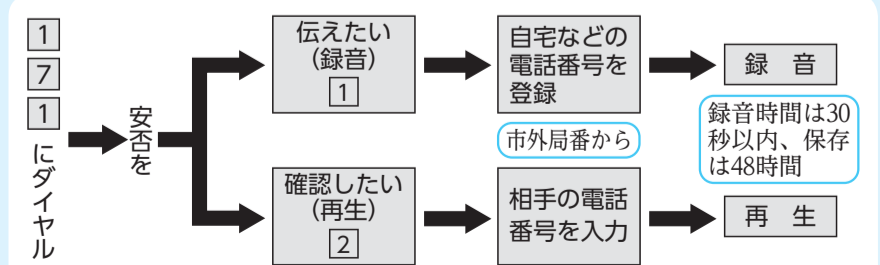
▷区携帯サイトアドレス

☎ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/mobile/index.html>



安否確認には「災害用伝言ダイヤル 171」

※固定・公衆電話、携帯電話、PHSなどで利用可能。



東日本大震災の影響に伴う 区的主要な取り組み

節電対策

区民施設の夜間利用の一部中止や冷暖房の停止、街路灯や公園灯の一部消灯などの節電対策を実施しています。 ※電力消費がピークとなる夏場の電力不足に対応するため、政府は15%の節電目標を打ち出しました。引き続き、みなさんも最大限の節電をお願いします。特に、平日の9時~20時の節電にご協力ください。

区内に避難されている方への対応

区内に避難されている方々の生活を少しでも支援できるよう、生活、福祉・介護、健康・健診、子育て・教育など、様々な分野にわたって各種行政サービスを実施しています。

義援金の受け付け(8面参照)

区民のみなさんからの真心の表れとして、多くの義援金が区に寄せられています。

被災地復興へ職員を積極的に派遣

- ◇3月15日(岩手県滝沢村) 災害支援派遣隊として土木部職員8名を派遣
- ◇3月26日~30日(宮城県気仙沼市)・4月12日~19日(福島県相馬市) 健康相談活動のため保健師各2名を派遣
- ◇4月14日から3か月間(千葉県浦安市) 液状化による被害復旧作業のため技術系職員14名を派遣
- ◇4月16日~5月31日(宮城県気仙沼市) 122名を8回に分けて派遣 (り災証明書の発行事務 ほか)
- ◇4月17日~5月7日(宮城県仙台市) 清掃職員9名を3回に分けて派遣
- ◇5月11日~16日(宮城県気仙沼市) 地震調査関連のため建築職員3名を派遣



■気仙沼市での様子